

滋賀発・国際芸術祭
Pre BIWAKOビエンナーレ2027 “共鳴～Resonance”
国際芸術祭から発信する日本の美と心の体現



In Omihachiman shi Shiga ken

プレ国際芸術祭BIWAKOビエンナーレ2027は、第12回本展に向け、4組のアーティストによる展覧会、各種ワークショップなどを開催します。今回は、特に琵琶湖のヨシ、和楽器や伝統文化にスポットをあてた海外の方にも魅力的な内容となります。

【概要】

- 事業名 : プレBIWAKOビエンナーレ2027 共鳴～Resonance
- 内容 : 4名の作家作品展示及び、コンサート、ワークショップの開催
- 期間 : 2026年10月24日～2026年11月23日（作品展示）
- 休場日 : 火、水、木（但し11月3日(火)祭日は開場）
- ターゲット: アメリカ、ヨーロッパ圏の高付加価値層 インバウンド及び国内文化芸術愛好家
- 主催: 国際芸術祭BIWAKOビエンナーレ実行委員会、助成: (独) 日本芸術文化振興会日本博

メイン会場の舞台は、近江八幡旧市街地。豊臣秀次が築いた城下町を礎に、近世には近江商人発祥の地として大きく発展した、豊かな歴史と文化が息づくまちです。往時の面影をそのままに残す八幡堀では、和船から風情あふれる町並みをゆったりと見渡せます。また近隣には、琵琶湖に浮かぶ世界的に稀有な日本唯一の有人島「沖島」や、聖徳太子ゆかりの西国三十三所第三十一番札所「長命寺」、織田信長の築城から450年を迎える「安土城跡」など、深く豊かなカルチャーと自然を堪能できるスポットが満載です。

展示空間となるのは、主に江戸から明治期にかけて建てられた歴史的建造物。古い建築が持つ記憶や佇まいと現代アートの瑞々しい感性が共鳴し合い、この地でしか成立しない唯一無二の芸術空間が立ち上がります。歴史ある町並みそのものを作品の一部としての体感しながら、古民家という「過去」と、現代アートという「現在」が交差していく……。その独自の世界観は、多くの美術ファンやクリエイターを魅了し続けています。近江八幡の町を歩き、建物の記憶に触れ、アートと出会う。それは、一般的な美術館では決して味わえない、本芸術祭ならではの特別な芸術体験です。

spot

*アーティストトーク

10/25(日)14:00～16:00

料金: ¥1,000

*ディレクター
ガイド&トーク

11/1 (日)14:00～15:30

料金: ¥1,000

■ディレクターによるプライベートガイドツアー（要予約）

会期中、本展ディレクターによるプライベートガイドツアーを承ります。

料金詳細につきましては事務局までお問合せ下さい。

<報道関係者様からのお問い合わせ先>

国際芸術祭BIWAKOビエンナーレ実行委員会事務局

〒523-0847 滋賀県近江八幡市永原町元12

TEL 0748-26-3669 E-mail. info@energyfield.org



【1. 作品展示】

令和8年10月24日(土)～令和8年11月23日(火)

出展アーティスト：ホルヘ・カニエテ、田中哲也、竹本智志、森島喜則



現代アーティスト

ホルヘ・カニエテ [スイス/スペイン]

インテリアデザイナー、アーティスト。環境や場所の歴史を背景に、「記憶と現代性の交差」をテーマとして、空間に詩的な物語を宿す作品を制作。アンドリュウ・マーティン賞をはじめ、世界的な賞を多数受賞。本展では体験型作品を展示予定。

「あなた自身の運命と繋がるものです。あなたが選ぶ器の中に隠されたまだ見ぬ未来が新たな旅の始まりとなるかもしれません。」



陶芸家 / アーティスト

田中 哲也 [滋賀]

信楽の半透明粘土で植物や昆虫を繊細に造形し、時間を三次元的に表現。国際陶芸アカデミー会員。世界各地で高い評価を受け、国際陶芸祭や美術館に多数招聘されている。



琵琶奏者 / メディアアーティスト

竹本 智志 [滋賀]

琵琶奏者。筑前琵琶日本橋会橘流。東京大学 大学院博士後期課程に在籍し、古典芸能の実践と学術的分析、現代アートを横断し、古典から派生する美の現代的表現を探究する。



アーティスト / 写真家

森島 善則 [滋賀]

近江八幡市地域おこし協力隊。地域素材や伝統文化をリサーチし、写真表現を軸に、ヨシなどを用いたインスタレーションを制作。自然の生命力や地域の記憶を現代の空間に再構築する表現を追求する。

【2. 琵琶とよし笛のコンサート】

日本の古楽器である琵琶と琵琶湖のヨシから作られた美しい響きのヨシ笛の演奏会を、旧伴家住宅/江戸時代豪商の商家建築、近江八幡市の指定文化財で開催いたします。



法應山竹本旭曜 (筑前琵琶奏者)

国内外で広く演奏活動を展開する傍ら、東京大学大学院工学系博士課程に在籍。演奏と研究の両面から琵琶の表現を追究している。また、古琵琶の修復にも携わり、伝統の美を現代へとつなぐ活動に精力的に取り組んでいる。



近藤ゆみ子 (ヨシ笛奏者)

日本よし笛協会会長。近江八幡市を拠点に、琵琶湖の自然やヨシへの想いを音楽で表現。大阪・関西万博や全国植樹祭などで演奏を披露し、ヨシの響きを通じて自然との共生と環境保全の大切さを次世代へ伝える活動に取り組む。

開催日：10月17日(土)

場 所：旧伴家住宅 2F 近江八幡市新町3丁目15

時 間：13：30 開場 14：00 開演

<第一部> 14：00～14：45

琵琶の弾き語り (那須与一) 竹本智志氏
竹本智志氏

<休 憩> 14：45～15：00

<第二部> 15：00～16：00

ヨシ笛演奏(日本ヨシ笛協会会長 近藤ゆみ子氏)

★入場料

- ・一般 ¥3000
- ・小中学生 ¥1000 乳幼児 無料
- ・障がい者手帳お持ちの方と
同伴者 1名無料

※BB図録、記念本 販売

【3. 麻ストールのヨシ染めワークショップ】

琵琶湖のヨシと室町時代から継承される「近江麻布」のスカフの染色体験です。
元織物工場の『ファブリカ村』の村長、染織作家の北川陽子さんのご指導の下、自然共生してきた近江の工芸、産業史を感じていただきます。

開催日：11月8日(日)

場 所：ファブリカ村 東近江市佐野町657

時 間：9：30～12：00 午前の部

13：30～16：00 午後の部

* 別途 ヨシうどん提供 12：00～13：00

¥1,000 (事前申し込み)

講 師：北川陽子氏 (ファブリカ村 村長)



★参加費

参加定員 午前、午後 各10名

¥ 5500

※BIWAKOビエンナーレ10th 記念本+はがき付
通常¥1100⇒特別価格¥800で販売

【4. 松明作りデモンストレーション&しめ縄ワークショップ】



1200年以上の歴史を持つ「八幡まつり」で使われる松明のミニチュア制作を見学。
その後、藁を使った「しめ縄づくり」に挑戦。日本の伝統文化に触れる貴重な体験をお楽しみいただくと共に、完成したしめ縄はお持ち帰りいただけます。

開催日：11月7日(土)

場 所：禧長 近江八幡市永原町元12

時 間：13：30～16：00

講 師：大西 實氏、他3名

(文化遺産としての松明を次世代へ送る会)

★参加費

参加定員 12名

¥ 2,500

※禧長入場料は別途お支払いをお願い致します。